

Governance

コーポレート・ガバナンス

ハルナグループは、「創業の精神」「企業理念」「ハルナグループ企業行動指針」に基づき、持続的な成長と企業価値の向上を図るとともに、公正かつ透明な企業活動を行うために、権限と責任を明確にした意思決定とこれを監視・評価する体制を整備し、より良いコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組んでおります。

ハルナグループは、株主およびお客様、社員、取引先、地域社会等のステークホルダーの皆様との間において、良好な関係を維持するとともに企業としての社会的責任を果たすためコーポレート・ガバナンスの充実に努める。

ハルナグループは、財務情報等の会社情報の適切な開示を通じて、企業経営の透明性確保に努めるとともに、コーポレート・ガバナンスを創造的に進化させ、企業価値の向上に努める。

経営理念・ビジョン

ハルナグループの役員・社員は下記の経営理念およびビジョンを共有し、実現に向けて継続的に取り組むこととする。

経営理念

顧客志向を経営の核として

顧客評価に値する品質とは何かを問い

顧客思考を超える製造とは何かを考え

顧客歓喜の果実を己の収穫とする

ハルナグループの目指す姿

- 独創性ある飲料プロデューサーとして、ステークホルダーの皆様から大いなる期待と満足を得られる企業へ
- 顧客満足度最高レベルに向けて、ステークホルダー皆様の幸せに向けて
- 利益を伴う持続的成長に向けて

ハルナグループはビジョンに掲げた理念の実践のため、ハルナグループ企業行動指針に基づき法令遵守、社会倫理の遵ハルナグループはビジョンに掲げた理念の実践のため、ハルナグループ企業行動指針に基づき法令遵守、社会倫理の遵守を全ての役員・社員の行動規範とする。

ハルナグループ責任者・事業会社役員



山崎 敦也 ● ハルナプロデュース株式会社 専務取締役(COO)

お客様にとって必要とされる価値ある企業となるよう、これまでになかったレベルとスピードで信頼いただける体制を目指し、「もっと新しいもの、もっと美味しいもの、もっとドキドキするもの、もっと感動するもの」を届け続ける活動を行って参ります。



古市 直也 ● ハルナプロデュース株式会社 取締役(品質・環境・エネルギー)

限りある資源やエネルギーなどを有効に活用すると共に地球温暖化防止対策、再生可能エネルギーの活用、自然環境保護等を行い、地球環境を持続可能な形で次世代へ引き継いでいくことを重要な使命と捉えています。事業活動において環境負荷低減に取り組むとともに、持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。



三原 修一 ● ハルナプロデュース株式会社 取締役(生産・物流)

生産本部では組織構造改革・オペレーション改革・デジタル改革から聖域なく現状を見直すことで、徹底したローコストオペレーション体制の実現により、マザーファクトリーとしての存在を確立し、パートナープラントとの協力体制を強化します。



中澤 幹彦 ● ハルナプロデュース株式会社 専務取締役(CPO)
● 株式会社ハルナウォーター 取締役

7月1日株式会社ハルナウォーターがスタートします。ハルナグループでは「潤う幸せを世界に」という考えのもと、ステークホルダーの皆様へ安曇野の水をお届けしてまいります。日本の水を世界へとの思いは創業の思いでもあり原点でもあります。ミネラルウォーターは災害時のライフラインとして、また、美味しい水は生活に欠かせない物です。安曇野の水事業を通して新たな価値の創出を目指してまいります。



青木 日出生 ● HARUNA株式会社 代表取締役社長

海外事業を本格化し10年が経ちました。ASEANにおいては、タイをハブに周辺国への展開及び、日本とのビジネス展開し、さらにブランド力を磨き、新たな商品・市場を創り出しています。そして、海外戦略を融合して欧米市場にも目を向け、新たなビジネスモデルで躍進していきます。またグローバル事業展開に際し、新たに直面するリスクに適切に対処するため、グローバル・グループ・ガバナンス態勢を構築し取り組んでいきます。

Compliance / Profile

コンプライアンスの推進・役員情報

ハルナグループは、「企業理念」に基づき、事業を遂行する上で守るべき遵法精神・企業倫理に則った行動の規範として、コンプライアンス活動の中核を成す「企業行動規範」を制定しています。また、経営陣も含めた社員一人ひとりの業務活動におけるより具体的な行動の判断基準として「コンプライアンス行動指針」を定めています。取締役はこれら企業理念や企業行動規範、コンプライアンス行動指針に従い、確固たる遵法精神と倫理観に基づく誠実かつ公正な行動を率先垂範すると

もに、その社員への浸透を図っています。また、取締役会は定期的な事業遂行状況の報告を受けることにより、ESGの観点も含むリスクの早期把握に努めているほか、社内での意思決定の過程における相互牽制、各種会議体での審議、社内規程に基づく平時からの危機管理体制の整備等により、企業活動の遂行に当たってのリスクの認識と回避策を徹底するとともに、リスク発生時の損失による影響の最小化を図っています。

2023年5月31日現在

ハルナビバレッジ役員情報

青木 麻生

取締役会議出席率 / 100%



● ハルナビバレッジ株式会社 代表取締役社長
● ハルナグループCEO

経歴
2005年 ハルナビバレッジ株式会社入社
2005年 ハルナビバレッジ株式会社執行役員兼営業本部長
2008年 ハルナビバレッジ株式会社代表取締役常務
2009年 ハルナビバレッジ株式会社代表取締役社長(現任)
2023年 株式会社ハルナウォーター代表取締役社長(現任)

栗原 健一

取締役会議出席率 / 100%



● ハルナビバレッジ株式会社 専務取締役
● ハルナグループ CFO・CHO

経歴
2004年 ハルナビバレッジ 財務本部長
2004年 ハルナビバレッジ 執行役員経営戦略本部長
2005年 ハルナビバレッジ 取締役執行役員(財務・人事・IT担当)
2008年 ハルナンテリジェンスネットワーク 代表取締役社長
2010年 ハルナビバレッジ 代表取締役常務
2013年 ハルナロジスティクス 代表取締役社長
2014年 ハルナマーケティング 代表取締役常務
2015年 ハルナビバレッジ 常務取締役
2019年 ハルナビバレッジ 専務取締役(現任)

ピーター・トーマス

取締役会議出席率 / 100%



● ハルナビバレッジ株式会社 取締役
● ハルナプロデュース株式会社 代表取締役社長(CMO)

経歴
2000年～2015年 Daymon Worldwide, Division Vice President
Daymon Worldwide KK, President & CEO
(Joint-venture with Aeon Co. Ltd.)
2015年1月～2020年12月 Hikari Miso International, Inc. 社外取締役
2015年～2018年 株式会社ZOZOテクノロジーズDirector of Global Expansion
2015年1月～現在 NVMAD 創業者兼代表取締役社長 New York City Area
2021年6月～ ハルナビバレッジ株式会社 社外取締役就任
2022年10月～現在 ハルナビバレッジ株式会社 取締役 Chief Marketing Officer(現任)
2023年 ハルナプロデュース株式会社代表取締役社長(現任)

小出 信介

取締役会議出席率 / 100%



● ハルナビバレッジ株式会社 非常勤取締役

経歴
1996年 4月 ハルナビバレッジ株式会社 創業に参画
2003年 6月 同社取締役就任(営業担当)
2006年 6月 同社代表取締役社長就任
2010年 6月 同社非常勤取締役就任(現任)
2010年 6月 明光監査法人代表社員(2018年6月退任)
2010年 6月 小出公認会計士・税理士事務所代表(現任)
2010年 7月 株式会社スプリング・パートナーズ 代表取締役社長(現任)
2015年11月 株原船舶販売株式会社 非常勤取締役(現任)
2016年 9月 株式会社INGS 監査役(現任)
2020年11月 株式会社株名記念の家 監査役(現任)
2023年 3月 医療法人社団親月会 理事(現任)
資格
2002年 4月 公認会計士登録(現任)
2010年 3月 税理士登録(現任)

梅野 匡俊

取締役会議出席率 / 100%



● ハルナビバレッジ株式会社 社外取締役

経歴
1977年 4月 キリンビール入社、主に経営企画部門、マーケティング部門で勤務
マーケティング部副部長、横浜支社長、原料資材部長、三菱広報委員会部長
2010年 4月 横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院、成長戦略研究センター 客員教授
2014年 8月 横浜バイオテクノロジ株式会社(横浜国立大学発ベンチャー) 創立に参画、取締役(現任)
2017年 4月 横浜国立大学 学長特任補佐(産学連携担当)
2020年12月 新潟県立大学 国際産業経済研究センター 客員教授
2021年 6月 ハルナビバレッジ株式会社 社外取締役(現任)
2022年 4月 新潟県立大学 地域連携推進センター 特任教授(産官学金連携担当)(現任)

尾崎 聖治

取締役会議出席率 / 100%



● ハルナビバレッジ株式会社 社外監査役

経歴
1979年 4月 サッポロビール(株)入社
2005年 3年 同社ワイン洋酒事業部長 兼 サッポロワイン(株) 取締役
2006年 3月 兼 (株)恵比寿ワインマート 代表取締役社長
2007年10月 同社中国本部長
2010年 3月 同社執行役員 東海北陸本部長
2012年 3月 サッポロ飲料(株) 常勤監査役 兼 サッポロビール(株) 監査役
2013年 3月 ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株) 常勤監査役
2015年 3月 サッポロホールディングス(株) 常勤監査役
2019年 3月 応用地質(株) 社外取締役(現任)
2020年 6月 ハルナビバレッジ株式会社社外監査役(現任)

役員の実践スキルマトリックス

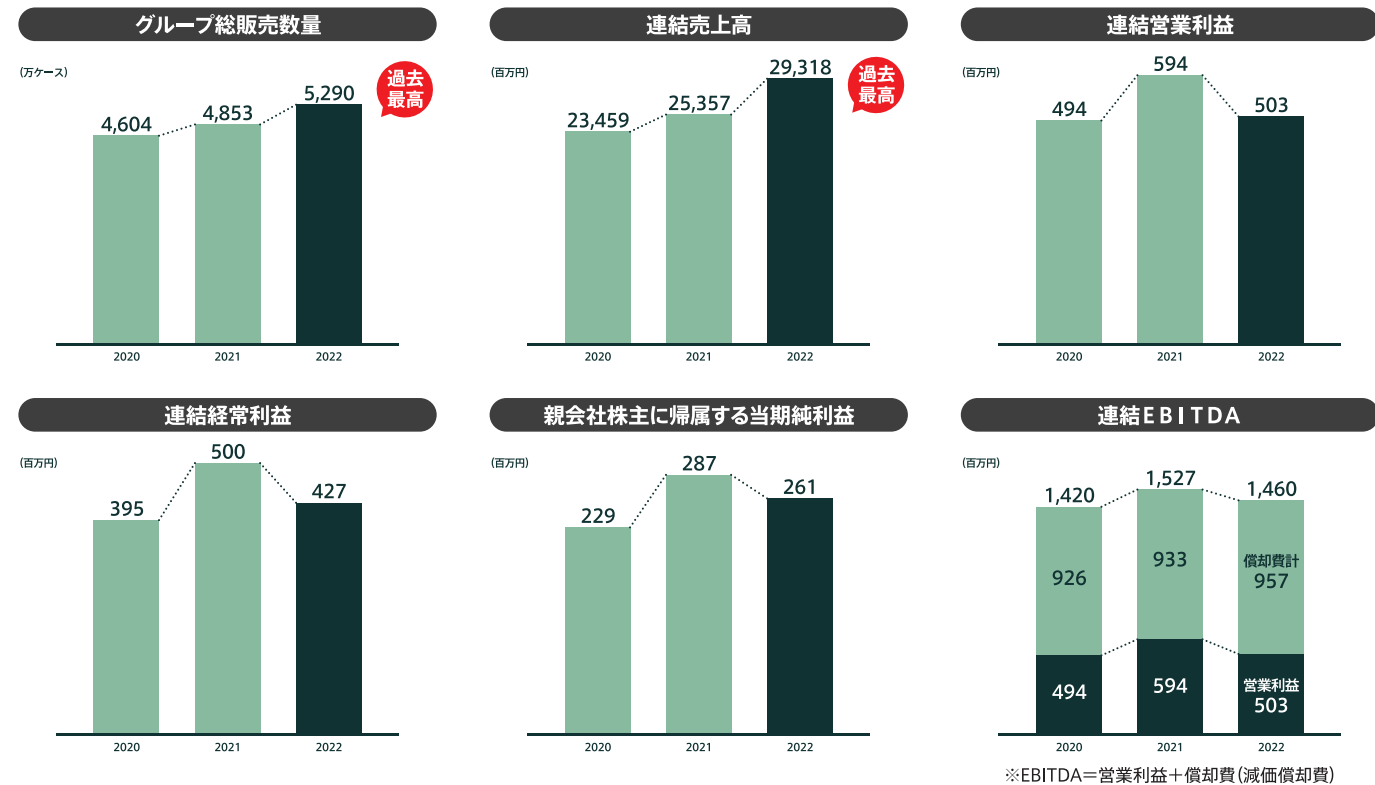
ハルナグループは顧客志向を経営の核として、飲料の領域で国内のみならずグローバルな事業展開による持続的な成長と、中長期的な企業価値の向上を統括する体制として、持株会社制を採用しステークホルダーにとって透明性高いガバナンス体制を維持し、重要案件の最終意思決定を行うとともに、経営に対する監督機能の強化を図っています。また、機動的に戦略を実行する執行責任を明確にするため執行役員制度を導入しています。グループ経営、事業の経験・能力・専門性が求められるので下記のスキルマトリックスを表記し、各役員の有する豊富な経験、高い見識や高度な専門性を生かし、当社経営に貢献が期待される分野に○を付しています。

氏 名	役 職	経営・事業戦略	グローバル経営	サステナビリティ	法務・リスク	財務・会計	人事・人材戦略	研究・開発	Hdx・知財
青木 麻生	代表取締役社長	●	●	●			●	●	●
栗原 健一	専務取締役	●		●	●	●	●		●
ピーター・トーマス	取締役	●	●	●				●	●
小出 信介	非常勤取締役	●		●	●	●			●
梅野 匡俊	社外取締役	●		●			●	●	●
尾崎 聖治	監査役	●		●	●		●		●

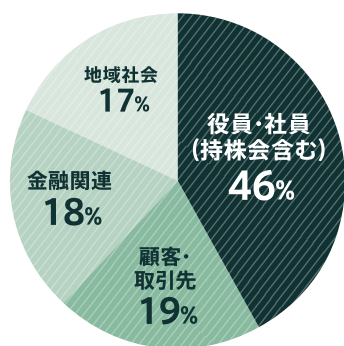
Report 事業報告

☑ 連結 P/L 総括・連結 EBITDA

※下記数値は、表示未満単位は全て四捨五入にて表記しております



株主構成比



● ハルナビバレッジ



☑ 財務戦略 — 担当役員メッセージ —



ハルナグループCFO・CHO
ハルナビバレッジ株式会社 専務取締役 栗原 健一

ハルナビジョン2026(創業30周年にむけて)

昨今、事業環境を見通すことは大変難しい時ですが、このような時だからこそ明確なビジョンの下、全員の英知を結集し、変化する環境に能動的に適応しスピードをもって主体的に取り組んで行くことが必要であると考えています。今期もインフレ対応によるコスト増加など多くの課題が残されていますが、その環境変化を活用し、自らが未来を主体的に創造し掲げた目標に対して変化に柔軟に対応しながら確実に達成してまいります。

2023年度経営計画について

今期は長野県のミネラルウォーターの生産拠点とその社員が同志となり「株式会社ハルナウォーター」が7月より事業開始となります。また、役員・幹部社員の役割を見直し意識決定がスピーディーに行われる組織改革と構造改革を実行し、一人当りの生産性を高め全てのセグメントの利益創出を目指します。今年も物価高騰が続く中、通常の昇進・昇給に加え社員がより安心して生活ができる環境をつくるため、給与水準の引き上げ(ベースアップ)を実施し定期昇給と併せて4%アップを目指すとともに、賞与についても、業績と連動し冬季賞与は過去最高の支給を目論みます。

グループ連結売上高については、ハルナビジョン2026で掲げた300億円を前倒しで達成させ、グループ連結営業利益を前期比1億円増の6億円を目論んでおります。1億円の利益を創出するため下記の取り組みを行ってまいります。

ハルナビジョン2026

KPI (Key Performance Indicators) 最重要数値目標

● 売上高	300 億円
● 営業利益	10 億円
● 経常利益	9 億円
● 自己資本比率	20 %
● 時間外労働時間	20 時間未満 (一人あたり月平均)
● 有給休暇取得率	100 %
● 賞与一人平均支給額	150 万円【総額 6 億円】
※一人あたりの成果報酬を継続的にアップ	

	2022 年度実績	2023 年度計画		
	①	②	②-①	②/①
連結売上高 (百万円)	29,318	30,000	+682	102%
連結営業利益 (百万円)	503	600	+97	119%
連結経常利益 (百万円)	427	480	+53	112%
連結販売数量 (千ケース)	52,902	56,000	+3,098	106%

● 構造改革

当事業の柱である、「国内飲料事業」「パートナー飲料事業」「協創事業」の構造改革と更なるパートナーシップを築くことより、「顧客」に対し圧倒的な付加価値を創出し、「社員」「パートナー企業」「当社グループ」三方良しの発展を目指します。

● ハルナウォーター

ミネラルウォーターの需要が拡大していくなか、当社グループもお客様のご要望にお応えできる「良質な水」と「確かな品質」を兼ね備えた「安心」で「おいしい」ミネラルウォーターの安定供給を目指すとともに自社生産プラントとパートナープラントを含め、利益の最大化を目指したプロダクトミックス戦略の立案・実行をしてまいります。